

内部文書 討議資料



ようすけ通信

Yosuke

News

[発行] 上野ようすけ連合後援会 帯広市西6条南16丁目11 tel 0155-67-6725 fax 0155-23-2120

<http://www.uenoyosuke.net> mail : info@uenoyosuke.net

地方創生は、人とモノの流れで

上野 ようすけ

交通網の充実が地域の活力を生む

3月15日、帯広・広尾自動車道の更別IC（忠類大樹IC）が開通しました。地元が待望する完全開通までもう少しのところまで来ました。十勝の物流あるいは地域間の医療格差の是正等、あらゆる観点においてこの道路は意義が大きく、残された大樹・広尾間の早期開通実現にもより一層、力を入れなければなりません。この開通に続き、3月29日には北海道横断自動車道の浦幌IC（白糠IC）が開通します。これにより、道央の黒松内を起点とするこの道路が釧路圏までつながることとなります。道東自動車網走線の延伸計画も動き出しています。

大都市圏と地方には、「距離」があります。この「距離」が地方にとって大きなハンデとなります。

そのハンデを克服するためには、こうした高速道路やバス等地域に根ざした交通網の整備は必要不可欠であり、その充実人は人とモノの行き来を活性化させ、地域に活力を生み出します。

特に道東道は、十勝・根釧・オホーツク（東北海道）

の連携を深め、各地域に経済効果をもたらすような有効活用を目指さなければなりません。

ただ、その一方で、大都市圏、つまり札幌圏と根釧・オホーツクがダイレクトに結ばれるわけですので、十勝には「通過点」にならない努力がより一層求められる、と私は考えています。

十勝、あるいは東北海道の農作物、加工品、乳製品をスピーディーに大都市圏へ運ぶことは間違いなく十勝の活性化につながりますが、ここで問題となるのが、モノの一極集中です。

現在、海上輸送は苫小牧、航空輸送は新千歳と、多くの荷物が道央圏に流れる構図になっています。これがある程度是正しなければ、物流が生む経済効果を十勝は十分に享受できません。海上輸送には十勝港、航空輸送にはとちかち帯広空港、というような仕組みづくりが必要になります。その意味でも、北海道横断自動車道から枝分かれする帯広・広尾自動車道は、これからの十勝の物流の重要なキーとなります。